



後期 生徒総会が開かれました

旧執行部の3年生が各委員会の前期の活動を報告してくれました。旧執行部のみなさん、お疲れさまでした。続いて、2年生の新執行部が活動方針と計画を発表しました。今年度は、総会の要項を印刷せず、スライドで提示しながら進めるなど、新しいことに取り組んでいました。また、旧執行部は、自分たち発信で校則の改定に取り組みました。総会の最後に講評でも言いましたが、これからの時代、過去の常識が未来では非常識になります。そんな予測不可能な時代を生きていく皆さんは、柔軟な発想で、何かを創造し、みんなで創り上げていく力が求められています。前述の旧執行部と新執行部の取組は、そのような姿を見せてくれた一場面だと思います。今後も、「自分たち発信で新しいことに取り組んでいく」ことを私は推奨していきたいと思っています。中学校生活をよりよく、充実した生活にしていくのは自分たち自身であるという当事者意識をもってほしい。そして東児中学校に誇りをもって、これからの学校生活をみんなで盛り上げていってほしいと思います。 校長 栗林 太郎



人権の輪に向けて

東児中学校では、12月15日（金）に「人権の輪」（人権集会）が行われます。それに向けて、道徳の授業や委員会活動など様々な分野で人権意識を高める取組を行っています。今回その取組の一環で、「パラスポーツ体験」をしました。「ボッチャ」という競技を通しての子どもたちが学んだことや感想を抜粋しておきます。

・障害があろうがなかろうが、みんなが平等に楽しめるようにこのスポーツの存在を知りました。障害をもっていてもみんなで仲良く、同じ人間として一緒に過ごせればよいと思います。私は、差別している人がいたら注意できる人になりたいです。
・今日は、チームのみんなと声をかけながら楽しくできました。私たちでもできる「心のバリアフリー」に気をつけて生活したい。（中略）以前耳が聞こえない人との会話でとまどってしまったことがあったので、手話を覚えてよい対応ができるようになりたい。



生徒たちは、この活動を通して、障害者だけでなく、人種や性別など、人には様々な違いがあり、その違い（多様性）を認め合って生活していくことで、差別や戦争のない社会へとつながっていくということも学べたように思います。

未来のパパ・ママ養成講座

12月1日（金）に3年生を対象に「未来のパパ&ママ養成講座」を行いました。山陽学園大学の母性看護学を専門にされている那須明美先生を講師としてお招きしました。生徒たちは、乳幼児との接し方や妊婦体験を通して、人間の性や発育発達について学び、子育ての大変さと同時に、育ててくれた親への感謝を感想として書いている生徒もたくさんいました。



3年生ダンス発表会

毎年12月に、備前西地区のダンス発表会というものがあり、本年度は玉野市から東児中学校と玉中学校が参加しました。保健体育の授業では、ダンスが必修と位置付けられており、生徒たちは体育の授業の中で練習を重ね、本番では灘崎文化センターのステージの上で他校生徒や保護者の前で元気いっぱい踊っていました。

